

■スペイン：政府が2050年ネットゼロを含む気候法案を議会に提出

エネルギー・環境情報誌は2020年5月18日、スペイン政府が2050年のネットゼロ排出を達成するための気候法案（climate law）を議会に提出したと報じた。この法案は2019年2月からパブリック・コンサルテーションを実施したもので、今後議会での議論が本格化する。法案では温室効果ガスの排出削減を進めるための具体的な目標が記載されており、2050年の電力供給は100%再生可能エネルギーで行い、すべての石炭、石油、ガス掘削事業を禁止、2040年には販売するすべての車両はEVなどに限定することになる。スペイン政府は2030年の目標を国家エネルギー・気候計画として欧州委員会に提出しており、2030年には電力供給の74%を再エネで実施するとともに、ビルや住宅のリノベーションによりエネルギー使用量を35%削減することを目指している。今回の気候法案は、新型コロナの感染拡大前から策定されてきたが、政府は今後の経済活性化策を形作るものと考えている。